

事務局だより

会員数 833名(令和元年12月末現在)
契約額 4億3,447万0,499円
(令和元年度4月～12月分の額)

会員登録と自家用車両使用 更新手続きをお忘れなく

令和2年度も引き続き会員登録を希望される方は、事務局から送付するハガキを持参のうえ、必ず3月2日(月)～23日(月)までにセンター会費1,200円と会員互助会費600円の、合わせて1,800円を納入のうえ、更新くださるようお願いいたします。

また、退会を希望される方はお手数ですが「会員証」の返還をお願いします。

現在就職していたり、病気等で就業が不可能な方は、一旦退会し、就業が出来るようになってから再度入会してください。

※なお、就業時及び就業途上において自家用自動車又は自家用原動機付き自転車を使用している方については、会員就業規則により、運転免許証・車検証(原動機付き自転車の場合は、納税通知書)・自動車損害賠償責任保険証明書・任意保険証券を登録更新手続き時にご持参のうえお越し下さい。(事務局で複写し、保管させていただきます。)

ただし、車検切れ、自動車保険の未加入又は運転免許証の失効等による無免許状態の方は、自家用車両不使用誓約書(用紙は事務局にあります。)を提出して下さい。

令和2年2月1日発行

お願い

会員入会時に届けている住所や、緊急時の連絡先などで変更がある場合は、速やかに事務局へお届けください。

貝塚市海塚1丁目17番20号
(公社)貝塚市シルバー人材センター

TEL 072-432-3620

FAX 072-436-3957

お知り合いの方にお知らせ下さい

みなさんのご近所やお知り合い、また、お友達で就業を希望される方がおられましたら、シルバー人材センターとはどういうところなのかを説明していただき、是非とも入会説明会への参加を促していただければと思います。口コミでの勧誘が効果的であると言われていきますので、60歳以上で元気で就業意欲のある方なら男女を問わず、お声掛けしていただき、会員獲得にご協力をお願いします。

今月の入会説明会は2月20日(木)です。

午後1時30分から、シルバー人材センター2階会議室で開催します。

**令和2年度の植木剪定の申し込み受付は、
4月1日から開始します。**

シルバー人材センターでは、植木剪定の令和2年度分の申し込みを4月1日(水)から電話で受け付けいたします。

すでに剪定依頼時期を決められている方は、お早めに申し込み下さい。

ご近所やお知り合いの方にもお知らせください。

インフルエンザに気をつけましょう！

手洗いとマスク着用で予防を

インフルエンザが猛威を振るう季節になりました。今シーズンの流行拡大は例年よりも速く、特に注意が必要です。2019-2020年のインフルエンザは何型が流行しているのでしょうか？

今年のインフルエンザの症状の特徴としてA型で熱なしという情報もありますが、2019-2020年に流行するインフルエンザの症状の特徴を確認してみましょう。

インフルエンザ 2019-2020 年は何型が流行？

例年よりもインフルエンザの流行が早めに推移している今シーズンですが、その後の拡大も例年よりも早めに推移しています。

12月22日までの1週間に、全国およそ5,000の定点医療機関から報告されたインフルエンザの患者数は10万5,200人で全国では、インフルエンザの1週間の推定患者数はおよそ76万2,000人と推計されています。

年齢別では5歳から9歳がおよそ19万8,000人、10歳から14歳が、およそ12万8,000人と推計され、子どもを中心に感染が広がっています。

2019年に流行しているインフルエンザはA型です。

インフルエンザの症状 2019年はA型熱なし？

インフルエンザとは

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症です。通常の急性上気道炎(かぜ)に比べ全身症状が強く出やすいことを特徴とします。

原因と感染経路

原因となる病原体は、インフルエンザウイルス(Influenza virus)です。インフルエンザウイルスにはA型・B型・C型があります。C型はヒトでの、流行は起こりにくいとされています。

近年、国内で流行しているのは、AH3亜型(いわゆる香港型)、AH1pdm09(2009年に流行したインフルエンザ)、B型の3種類です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」が主たる感染経路ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

2019年12月現在、流行しているのは、この内、A型のAH1pdm09です。

症状

1~3日の潜伏期間の後、38℃以上の発熱、頭痛、咳、咽頭痛、鼻水、筋肉痛、関節痛などを呈します。おう吐や下痢など消化器症状が見られる場合もあり、子ども、高齢の方、免疫力の低下している方などでは重症化して肺炎や脳炎になることがあります。

微熱や熱のないインフルエンザも！

「かぜとちがって急に高い熱が出て、頭痛や筋肉痛やふしぶしに痛みが出てくるのがインフルエンザ」というのはインフルエンザに特徴的な症状ではありますが、高熱は出ず微熱だけ、あるいは熱は出ないけれどもインフルエンザだったというケースもあるようです。

- インフルエンザ A 型 → 急激に 38～40 度の高熱が出る
- インフルエンザ B 型 → 37～38 度程度の発熱や微熱などで、高熱が出ない

もともとインフルエンザ B 型などでは 37～38 度程度の発熱や微熱というケースも多いです。

また、「微熱や鼻水が出る程度でも、検査をしてみたらインフルエンザ陽性だったという例もある。しかし軽症でも周囲の人にうつしてしまうリスクはあるので、咳エチケットを心がけてほしい」とあるように、「隠れインフルエンザ」といわれる、特徴的な発熱・高熱の症状のないインフルエンザも増えています。

インフルエンザ A 型熱なしの症状になりやすいケースとは？

- インフルエンザ予防接種を受けた人
- 日頃から解熱剤(鎮痛剤)などを飲んでいる人
- 高齢者や体力のない人

若い人や体力のある人は高熱や節々の痛みなどの激しい症状が現れやすいが、高齢者や体力のない人では強い症状があまり出てこないことも多い、と言われます。

またインフルエンザの予防接種を受けたひとは、症状が軽く高熱が出ないケースもあります。

本人は症状が軽いため、本人も周囲も軽く考えてしまいがちですが、人に移す可能性は充分あるので厄介です。

インフルエンザに感染しているかどうかは、医師による診察と検査によって判断されるため、風邪に似た症状の場合は、マスクをして、早めに病院を受診しましょう。

まとめ

2019 年 12 月現在は、インフルエンザ A 型が流行しています。インフルエンザ A 型の症状は「高熱」という印象でしたが、2019 年は熱なしの症状も出ています。

熱なし、あるいは微熱程度だと、症状が軽いため、本人も周囲も軽く考えてしまいがちですが、人に移す可能性は充分あるので、気になる症状があれば、自分で判断してしまわないことが大切です。

インフルエンザに感染しているかどうかは、医師による診察と検査によって判断されるため、風邪に似た症状の場合は、マスクをして、早めに病院を受診しましょう。